

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立南の星小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

多文化共生を含め、特色ある学校運営を目指すための支援のため、できることを熟議していく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか

学校運営の基本方針に基づき、生徒の良い面や課題を知り、日々の活動や年間の活動の方向性が理解できた。また、コロナ禍で実施できなかった様々な活動を充実させるための手立てについて、各自、活発に意見を発して、議論をかわすことができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

委員だけでなく、学校職員も含めて、児童の育ち、地域の環境、保護者の支援を賜り、具体的な手立てを共有する場を持てた。これらを含め、今後具体化し、実践をしたい。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

全委員で協議・熟議し、CSだよりを2回発行できたのは成果だと思う。しかし、地域や保護者への周知の方法は、まだまだ課題があると思う。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

2年間のCS活動の経験を活かし、多文化共生の実現を目指し、学校・地域・保護者と一体となり、より良い学校作りについて熟議していきたい。